

こんなことやっています。こんなところでごんぼっています。

## 地域おこし協力隊通信

### 子どもたちが山上農園を見学！

地域おこし協力隊の山田周さんが企画する『もっと長島プロジエクト』が11月21日に行われました。

第3回となった今回は山上農園(三船)の協力のもと「光センサー選果って何？おいしいみかんを届ける工夫とは？」というテーマで開催。町内の小学生とその保護者ら約20人が参加し、実際に農園を見学。長島で生産するミカンの特徴や栽培、選果の方法などを学びました。



役場長島大陸Nセンターで長

島町のミカンの歴史やミカン農家の1年について事前学習をした参加者らは、山上農園に移動。

園地での体験学習では、たわわに実ったデコポンに触れたり、山上博樹代表から同園の特長である栽培・出荷・販売を一貫して行う6次産業化の工夫や商品開発について話を聞きました。

屋内の作業室では、光センサー選果の説明を受けた後、参加者は実際に自分たちの手でミカンの糖度測定に挑戦。甘さが数値化されたミカンを食べることで、見た目では分からないおいしさを実感しました。

山上代表は、「子どもには伸び代しかない。土を触る、においを感じるなど原体験を培ってほしい」と話しました。



### 水産商工課の

### 印刷物をデザイン

役場水産商工課が発行する町外へのお礼状レターと、キャンペーンレディの名刺を協力隊の江副佑輔さんが制作しました。

お礼状レターは、イラストを用いたオリジナル便箋を制作。キャンペーンレディの二階堂さんの名刺では、似顔絵を全面に出したデザインとなっています。



お礼状レターでは、町で収穫された季節の恵みをイラストにし、便箋をデザイン。キャンペーンレディの名刺デザインでは、可愛らしさや親しみやすさを第一に制作しました。

